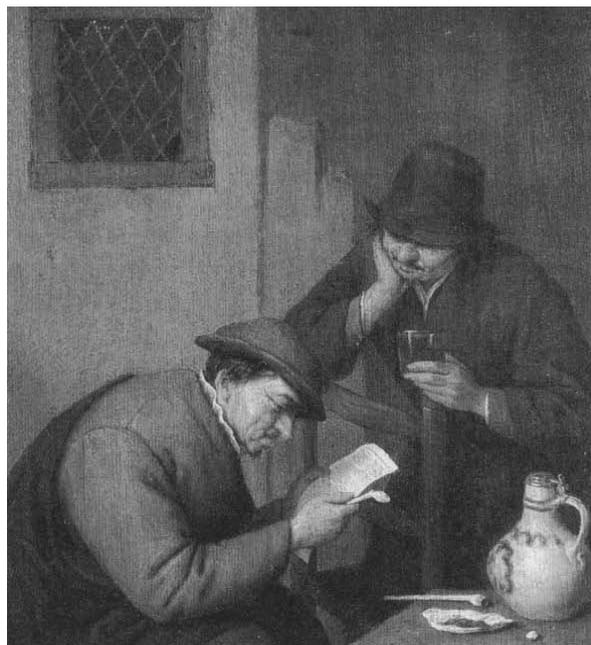


知識は 旅をする

千葉県立東部図書館だより
2007年12月
第24号



本を読む人シリーズ(24)

古今東西の本を読む人を紹介するシリーズです。

『『ガゼット』紙を読む男』～ガゼットとは最初の定期刊行物です。

(『本の歴史』～創元社～より)

■ トピックス

▼ 蔵書20万冊突破！

8月に東部図書館の蔵書が20万冊を超えました。

▼ 横芝光町立図書館が「Library of the Year 2007」優秀賞を受賞

先進的な活動を行っている機関に対して、NPO法人知的資源イニシアティブ(IRI)が毎年授与する「Library of the Year2007」優秀賞を横芝光町立図書館が受賞されました。おめでとうございます。

▼ 展示コーナーからのお知らせ

1月からの展示は「坂本竜馬」をテーマとする予定です。

▼ 名作映画鑑賞会

毎月第3土曜日に名作映画鑑賞会を開催しています。詳しくは、7ページをご覧ください。

▼ 年末年始休館日のお知らせ

12月28日(金)から1月4日(金)まで、休館します。

なお、休館中でも資料の返却ができますので、東部図書館正面入口左側にありますブックポストをご利用ください。

目	次
利用者アンケート集計結果	……2
図書館ぶらり散歩(24)～鼠色の本	……4
図書館の達人(11)施設紹介7～『レシートプリンタ』の利用	……5
房総文学スケッチ(12)～林 芙美子	……6
レファレンスあれこれ(24)～「過炭酸ナトリウム」の使用法	……7
名作映画鑑賞会のご案内	……7
行ってみよう！近くの施設(24)～香取市立小見川図書館	……8

ホームページURL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

携帯電話サイトURL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>



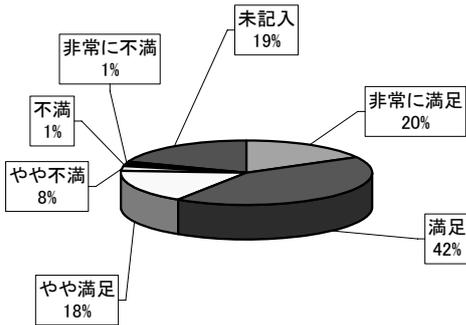
特集：

平成19年度 千葉県立東部図書館利用者アンケート集計結果

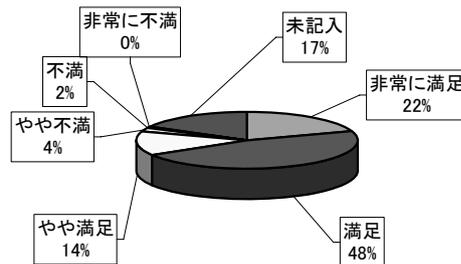
(回答総数 264件)

東部図書館では、10月25日(木)から11月7日(水)までの12日間にわたり、利用者アンケートを実施しました。結果は次のとおりとなりました。今年度もたくさんの方にご協力いただきありがとうございました。

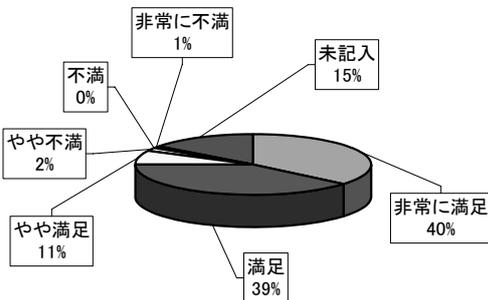
○お探しの本(資料)は利用できましたか。



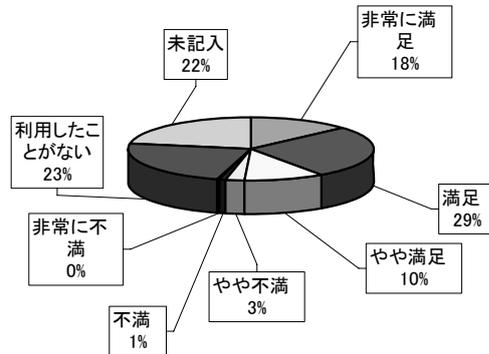
○館内案内図や書架の表示、カウンターの表示などわかりやすいですか。



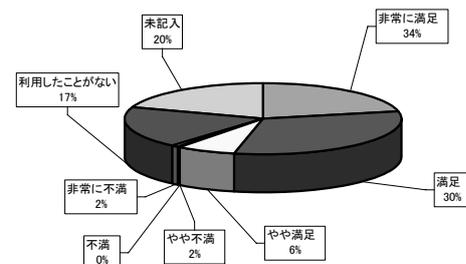
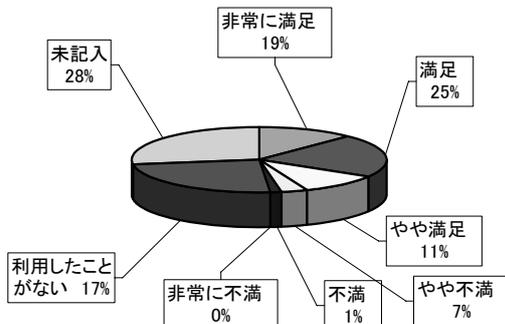
○職員の対応はいかがですか。



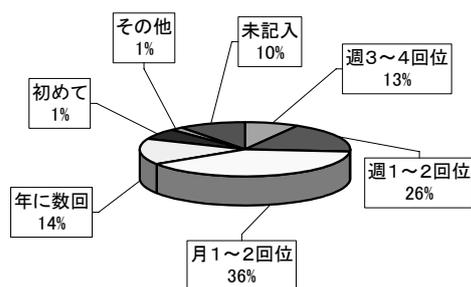
○他の図書館からの本の取り寄せの期間や手続きはいかがですか。



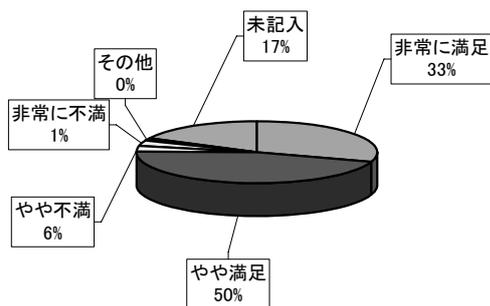
○当館のコンピュータの使い勝手はいかがですか。○調べものや探している本のことで、職員に相談したときの回答は的確でしたか。



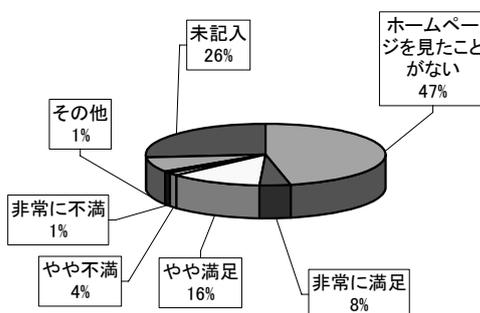
①当館にはどれくらい来館されますか。



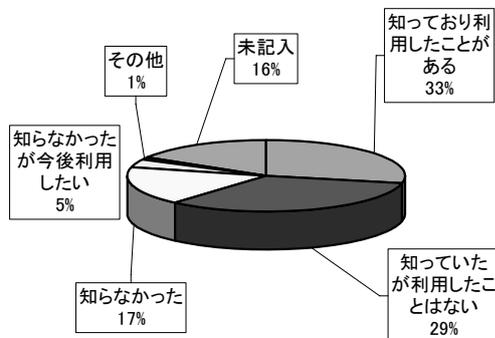
③目的は果たせていますか。



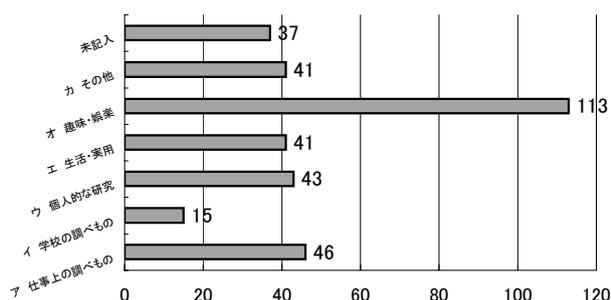
⑤平成19年2月から新しくなった『県立図書館HP』のご覧になった印象をお聞かせください。



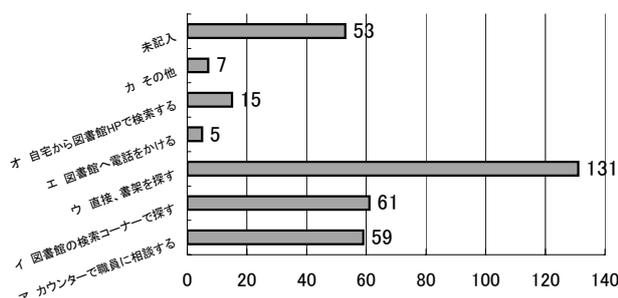
⑦他の図書館の本を県立図書館に取り寄せて利用できることを知っていますか。



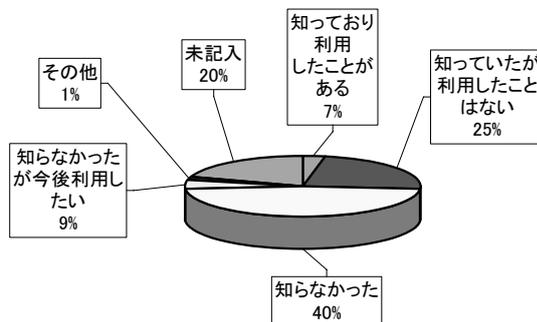
②ご利用の目的を教えてください。
(複数回答 単位:人)



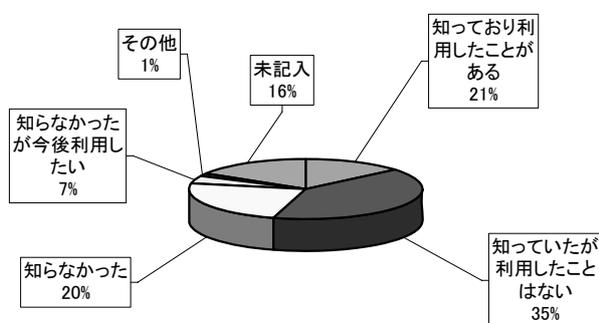
④図書館資料は主にどのようにして探しますか。
(複数回答 単位:人)



⑥インターネットから図書の予約や電子メールによる調査相談ができるようになったことを知っていますか。



⑧県立図書館の本をお近くの図書館に取り寄せて利用できることを知っていますか。



今後とも皆様を参考に、より良い図書館にするよう職員一同努力してまいります。

古来の文様と色彩の研究

～花筏・松皮菱・卍・月の兎・鼠色・茶色
—その美的感情を紡ぐ～

丹沢巧／著 2002 源流社
[72702-8] (書庫)

本書は、日本人の古来からの美的感情に基づく文様(花筏・松皮菱・卍等)と色彩(鼠色・茶色)について論究した本である。鼠色(灰色)は、現代の日本ではグレーと言うことが多いが、江戸後期から明治期にかけて服飾の領域においては「鼠色」の色名が好まれ、銀鼠・藍鼠・利休鼠(緑みの灰色)など数十種に及ぶ鼠色の衣服が流行した(p155～182)。

鼠色の呼称が多用された理由は、「鼠がいなくなるのは火事の前兆」という俗信や「鼠は大黒さまのお使い」であり福を運んでくるものとして、鼠が当時の人々の生活の中に広く受け入れられていたことによる。

灰色のピーターパン

石田衣良／著 2006
文藝春秋 [9136-1121]

非行、恐喝、いじめ・・・最近の若者は何を考えているのかわからない。いつの時代も「若者」はそう言われてきた。この本は、そんな現代を生きる若者について、実際に起きている様々な出来事を取り上げて話が進んでいる。盗撮映像売買で恐喝されるハメになった灰色のピーターパンは、池袋一のトラブルシューター真島誠に助けを求めた。果たして無事事件解決となるか?! 大人気シリーズ・池袋ウエストゲートパーク第6弾。灰色のピーターパンをあなたならどうやって救いますか?

※[]内は資料の請求記号です。

コンクリートのデザイン ～世界の現代建築家<4人×4作品>の地域的感性～

キャサリン・スレッサー／著
宮田摂子／訳 2001 産調出版
[52307-8] (書庫)

無味乾燥に思われがちなコンクリート。灰色の壁のイメージは、一般的にちょっと寒そうかもしれません。しかし、建築家のデザインによって様々な表情を持ち、景色と調和した見事な空間を作り出すようになります。本書では、日本の安藤忠雄氏をはじめ国際的に活躍する建築家4人の作品を豊富な写真で紹介。光や水、都市に囲まれ、異なる雰囲気を持つグレーの空間、

あなたの好みはどれですか。

鼠色の本

図書館ぶらり散歩(24)



ネズミの隠れ里探訪記

榎須美探訪隠士／著 2005
新風舎 [29101-38]

日本全国に多数存在する「ネズミ」という文字を含む地名369箇所のルーツを探る探訪記。旧栗源町の鼠塚[ネズミヅカ]、芝山町の鼠川[ネズミカワ]、旧光町の鼠内[ネズミウチ]なども取り上げられている。実際にその土地を訪ねて、言い伝えられた由来が判明することもあれば、地図からも姿を消して住民の記憶にも残っていないこともある。道で出会ったご老人に尋ねたが知らないと言われた、民家を訪ねると「隣りのお爺ちゃんなら知っているかも」と教えてもらった等々、本書にはその土地の住民に話を聞いた様子が書かれ、調査過程の臨場感が味わえる。

図書館の達人

施設紹介7 レシートプリンタ

東部図書館の検索コーナーには資料検索用の端末があり、その端末にはレシートプリンタが接続されていることをご存知ですか？

せっかく端末で探している資料を見つけて請求記号を覚えて棚まで行っても、探している間に憶えたはずの請求記号が分からなくなってしまうこともしばしばです。

そんなときは、検索結果(資料詳細画面)に表示されている印刷ボタンをクリックすれば横のレシートプリンタから資料の情報が印刷されて出てきます。レシートには請求記号のほか、書名をはじめ、著者や出版社、出版年やページ数、大きさなどが印刷されています。

書庫の資料を請求するときにも便利です。「書庫資料利用申込書」に氏名、貸出券番号を記入して、レシートを添えてカウンターにお持ちください。

【資料詳細画面】

千葉県立図書館 Chiba Prefectural Library

資料詳細

該当資料 69件中 現在 61件目を表示中です。

印刷

【資料詳細】

書名 : 鉄道員(ぼっぼや)
書名ヨミ : ボッポヤ
著者名 : 浅田 次郎/著
著者名ヨミ : アサダ ジロウ
出版地 : 東京
出版社 : 集英社
出版年 : 1997. 4
ページ数等 : 284p
大きさ : 20cm
ISBN : 4-08-774262-8 TRCNo. : 97017534 価格 : ¥1500
NDC分類 : 913.6
内容注記 : 雪深い麻紐の終着駅を守る年老いた鉄道員の話「鉄道員」ほか、「うらぼんえ」オリアン座からの招待状など8編を収録。あなたに起こるやさしい奇蹟。

予約数 : 0

「印刷」ボタン
をクリック

【レシート】

注：図書館内の端末でのみ印刷ボタンが表示されます。

○書庫資料を利用するときは『書庫資料利用申込書』に「氏名」と「資料貸出券番号」を記入してこのレシートとともにカウンターにお出してください。

○なお、レシートは感熱紙なので、時間が経つにつれて読みづらくなります。短期間の控えとしてご利用ください。

資料情報

2007.11.15 東部図書館

書名：鉄道員(ぼっぼや)
著者名：浅田 次郎/著
出版社：集英社
出版年：1997. 4
ページ数等：284p
大きさ：20cm
資料コード：2100573010
請求記号：9136/アシ 5
所蔵館：東部
所蔵場所：一般書庫
資料区分：一般
状態：可能

問合せ番号(書誌番号)：244286

林 芙美子

～「銚子市史」にみる林芙美子～

(はやし ふみこ 1903～1951)

激しく寝がへりを打ちて
かへりゆく浪のうねり、
犬吠の岬に来て
何も忘れ果てたり。 (『銚子市史』より)

明治中期、総武鉄道が開通してから多くの作家・歌人が銚子を訪れました。1956年に刊行された『銚子市史』には、来銚した著名人が多数、紹介されています。

冒頭の文章は『放浪記』で有名な林芙美子が、昭和15年9月21日に君ヶ浜の杉山平助別荘に泊り、濤声に眠を妨げられるまま壁間に鉛筆で書き付けたものです。さらに『銚子市史』には「この落書は今ものこっているが、最近心なしのウツケモノが鉛筆でなぞって、すっかり価値を失ってしまった」とありますが、現在、この別荘は跡形もなくなってしまったそうです。

芙美子は明治36年門司市(現・北九州市)ブリキ屋の2階で母キクの私生児として生まれます。誕生日もハッキリせず、幼い頃から住処を転々としました。上京後は、女給、女工、売り子など様々な仕事に就きながら、創作を続けます。出世作『放浪記』が出版、ベストセラーになったのは昭和5年、27歳の時です。流浪と極貧の生活から生まれたこの作品は、自伝的作品と言われています。それは冒頭の有名な一節「私は宿命的に放浪者である。私は古里を持たない」によく表れています。

『放浪記』の印税で中国へ旅行したのをはじめ、昭和26年47歳で亡くなるまで、芙美子は頻りに旅に出ています。戦時中は、昭和12年12月に毎日新聞の特派員として上海、南京へ赴き、13年9月には漢口攻略戦に従軍作家として参加しました。その間も精力的に創作活動も続けますが、19年に信州に疎開してからは沈黙します。

◎参考文献

- 『銚子市史』(島田隆／編 1956年)
- 『銚子市史 続1』(銚子市／編 1983年)
- 『銚子と文学』(岡見晨明／編 東京文献センター 2001年)
- 『林芙美子の昭和』(川本三郎／著 新書館 2003年)
- 『林芙美子・宮本百合子』(平林たい子／著 講談社 2003年)

■平林たい子

林芙美子の評伝に平林たい子著『林芙美子』(新潮社1969年)があります。たい子は芙美子よりも2歳年下のプロレタリア作家。2人は大正末期、東京本郷区のアナーキスト詩人の集まる喫茶店で知り合いました。まだ無名で生活が苦しい者どうし、家も近かったため、連れ立って原稿を出版社へ売り込みに歩きました。たい子が結婚する前には、同居もしており、若い頃の苦楽を共にした仲です。

『林芙美子』では伝記や評伝では普通使われない「芙美子さん」というさんづけで絶妙な距離を保っています。

■たい子と犬吠崎

同じく大正末期、たい子は文学仲間と銚子で流浪の日々を送ったことがあり、そのときのことを『砂漠の花』に書いています。作品中の「太洋軒」というレストランは、たい子が実際に働いていた新生三丁目付近にあった「巽軒」をモデルにしたもの。

前後して芙美子もまた、巽軒の近くの第二仙松軒というカフェで、女給をしていたことがあったそうです。

(『銚子市史 続1』より)

レファレンスあれこれ (24)

資料に関する調査・相談にお応えしています。過去に寄せられたご相談の事例をご紹介します。

「過炭酸ナトリウム」の、洗濯(漂白作用)以外の使用方法が知りたい。それについて書かれた本も探している。また、取り扱っている会社名を知りたい。

【調査経過】

- ① 当館所蔵本『化学工学便覧』『洗濯技術用語辞典』をはじめ関連のありそうな本を調査したが、記載がなかった。
 - ② 国立国会図書館蔵書検索システムの雑誌記事索引を用い、キーワードを「過炭酸ナトリウム」で検索すると数件ヒットしたが、ほとんどが漂白に関する記事であった。1件『過炭酸ナトリウムの用排水処理への応用』という記事があることを確認。
 - ③ 当館で保有する各種の検索ツールでも調査したが、やはりほとんどが漂白に関するものであった。
 - ④ 「過炭酸ナトリウム」ではなく「過炭酸ソーダ」をキーワードにして検索したほうがヒット数が多いことがわかり、再度調査。国立国会図書館蔵書検索システムの雑誌記事索引で『化学市場研究資料83-4~6』がヒットし、国立国会図書館から取り寄せる。また総合目録ネットワークシステムでは『炭酸ソーダ及アムモニアの水の軟化作用に就て』がヒットし、県立長野図書館から取り寄せる。
 - ⑤ 取り扱っている会社名等を知るために『新化学インデックス』(2007)と『13901の化学商品』を中央図書館から取り寄せる。
 - ⑥ 上記資料④、⑤及び各種検索ツールで調べた資料を提供。また「C i N i i 国立情報学研究所 論文情報ナビゲータ」(検索システム)のPDF形式で公開されている資料についてお知らせする。
- 担当者のコメント● 検索システムの「C i N i i 国立情報学研究所 論文情報ナビゲータ」の中に無料で利用できるPDF形式資料が添付されている場合があります、利用できると便利です。

【提供図書】

〔千葉県立中央図書館所蔵〕『新化学インデックス』(化学工業日報社 2006年) [57036/1/07]

〔千葉県立中央図書館所蔵〕『13901の化学商品』(化学工業日報社 2001年) [57036/2]

〔県立長野図書館所蔵〕『炭酸ソーダ及アムモニアの水の軟化作用に就て』

(ライオン洗濯化学研究所 1937年) [576/26]

〔国立国会図書館所蔵〕『化学市場研究資料 83-4~6』(化学市場研究所 1983年) [DL483-25]



名作映画鑑賞会のご案内

毎月第3土曜日に、名作映画鑑賞会を開催しています。(入場無料)
併せて、13時から「日本を縦断する映像発表会」作品も上映しています。
どうぞ足をお運びください。

開場：午後0時50分～ ビデオ上映：午後1時～ 映画上映：午後1時30分～
場所：東部図書館3階研修室 ※来館又は電話でお申し込みください。

- ★ 12月15日(土) 『黄金の七人』 監督：マルコ・ヴィカリオ/主演：ロッサナ・ポDESTA
(1965年 イタリア カラー 86分)
- ★ 1月19日(土) 『白夜』 監督：ルキノ・ビスコンティ/主演：マリア・シェル
(1957年 イタリア モノクロ 107分)
- ★ 2月16日(土) 『出来心』 監督：小津安二郎/主演：坂本武
(1933年 日本 モノクロ 85分)

心通い合う、わたしの図書館

～ 香取市立小見川図書館 ～

JR成田線小見川駅から10分ほど歩いたところに、香取市立小見川図書館があります。図書館に着いてまず目に飛び込んでくるのが、玄関脇にある図書の返却ポストです。木材製で、小さなログハウスのような形をしており、手作りの温もりが伝わってきます。図書館の中に入ると、児童書のコーナーには畳が敷かれ、子供たちが思い思いの格好で、心ゆくまで本の世界に浸ることができる和みのスペースになっています。



図書館の歴史は古く、昭和24年に当時の役場敷地内（現幼稚園所在地）に開館したのが始まりでした。町民に図書の寄贈を呼びかけ、持ち寄られた本を蔵書としてのスタートでした。

昭和40年頃には、木造2階建ての農村青年研修所内に移転し、その後も何度か場所を変えて、昭和59年に町役場（現小見川区事務所）に隣接する現在の場所に移転しました。

場所が変わっても、そして、合併で小見川町が香取市に変わっても、開館当初からずっと変わらないのが利用者と図書館とのふれあいです。「利用者一人一人のわたしの図書

館」を目指している職員の姿勢が、そのまま温かい雰囲気を作り出しています。利用者それぞれをよく理解して、子供たちやお年寄りの方々に声をかけたり、好みそうな本を紹介したり、大きな図書館とはまた違って、本当に身近な「わたしの図書館」といった感じがします。最近、棚にある本を借りていただくだけではなく、小見川図書館にない本を取り寄せてほしいというリクエストも増えてきましたが、迅速に対応し、「欲しい本が早く読める」と好評です。

近くには桜のきれいな城山もあります。休日に、ちょっと足を伸ばしてみたいはいかがでしょうか。



- ◆所在地 香取市羽根川38
(Tel 0478-80-0511)
- ◆開館時間 9:00～17:00
- ◆休館日 月曜日 月末休館日
年末年始
祝日の翌日（土・日・火曜日
を除く）
図書特別整理期間

■ 県立図書館の資料は、市町立図書館などを通じて利用することもできます。

お近くの図書館、あるいは公民館図書室等の読書施設にご相談ください。

■ 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。

グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言

秋の図書館利用アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。新年は平成20年、人間で言えば成人式を迎える年になりますね。良いお年を！

編集・発行：千葉県立東部図書館

〒289-2521 千葉県旭市ハの349

TEL 0479-62-7070

URL : <http://www.library.pref.chiba.lg.jp>